

# 桐 kiri

目白の森から風便り

目白学園 広報誌

学校法人 目白学園

目白大学大学院

目白大学

目白大学短期大学部

目白学園中学校・高等学校

第7号

通算105号

2006.7



Special issue

## 2006年4月、 新学科がスタートしました。

新宿キャンパス 人間社会学部地域社会学科  
岩槻キャンパス 保健医療学部言語聴覚学科



目白探訪  
新宿キャンパス10号館 part2  
学園インフォメーション



輝く目白の星

## 努力したぶんの結果はついてくる それがパワーリフティングの魅力です。

パワーリフティング選手

目白大学保健医療学部作業療法学科1年 春原知子さん



## 地域社会学科

2006年4月より新宿キャンパスで地域社会学科の教育がスタート

# 「現場から学ぶ」をキーワードに 知のネットワークを創り出し 地域の問題を発見・解決できる人材を育成

今年度新設された地域社会学科は、フィールドワークを通して現場の視点を獲得し、そこから地域社会の問題を考えていこうとする新しいコンセプトをもっています。学科長の廣田政一教授に、教育内容と今後の抱負をお伺いしました。

### 地域社会をフィールドに 3分野の事例を学ぶ

近年の地域社会は、いわゆる都市化の影響で、伝統的なコミュニティを失いつつあります。また環境問題や外国人労働者問題など、多様な価値観が絡み合う複雑な問題も数多く抱えています。地域社会学科は、こうした課題を解決するため、人文学部の地域文化学科、現代社会学部を発展的に改組する形で誕生しました\*。地域社会で実際に起こっている問題に対して、自らリーダーとなって積極的に解決を図っていくことができる人材を育成することが大きな目的です。

そのためには、地域で何が起きているのかをきちんと知る必要があります。そこで、教育のキーワードとして「現場から学ぶ」を掲げ、フィールドである地域社会に入っていく、現実の事例に則して学ぶ教育方法を取り入れました。

学びのフィールドは、「交流空間」「多文化共生」「未来創造」の3分野です。これは、地域社会をそれぞれ「人と人、人と空間が出会う場」、「様々な文化や価値を持つ人々が共存する場」、「新しい価値観を創造して未来を作っていく場」として捉え、それらの視点から問題発見・解決を図っていくためです。各分野にはそれぞれ研究ユニットを設定し、より具体

的な問題意識を持てるようにカリキュラムを組み立ててあります。

### 現場の知識を集約して 「知のネットワーク化」を図る

たとえば、現場主義を徹底するため、1年次からフィールドワークを実践します。最初に調査・分析手法を学び、2、3年次で自らの問題意識にもとづいて地域で調査活動を行い、最終的に卒業研究にまとめるという流れです。また、ゼミナール(演習)を1年次から導入し、寺子屋方式の少人数教育を徹底して行います。さらに3つの分野ごとに設定している科目群の壁を低くし、興味・関心に応じて履修できるアラカルト方式を採用する、専任教員全員が講義を行い、学際的研究のあり方を例示するオムニバス授業を導入するといった工夫もしています。

こうした教育を行うことによって、学生は、

劇場や博物館など人々が交流する場を創り出す力、日常における異文化、多文化の中でコミュニケーションを図る能力、地域に飛び込んで問題を解決しようとする意志の力などを身につけることが可能になります。そして何よりも、地域の多くの方々の協力を仰ぎ、その知を結集して共有・発信するための「知のネットワーク化」を推進していく能力を育成したいと考えています。

将来の進路として、「交流空間」を主に学んだ学生は、旅行会社や学芸員、地域のコンサルタントなどを、「多文化共生」なら、貿易会社やJICA等の国際協力関係団体などを、「未来創造」なら、公務員やNGO、環境ビジネスの企業、起業家、社会調査士などを想定しています。また社会科関連の中学・高校の教員免許状の取得も可能にする予定です。

\*人文学部は募集を停止しています。なお、人間社会学部は、2007年4月より人間学部と社会学部に改編され、社会学部地域社会学科となります。

人間社会学部地域社会学科長

廣田政一教授

Profile

慶應義塾大学経済学部卒。同大学院経済学研究科経済政策学専攻修士課程修了。サマランカ大学(スペイン)留学を経て、国際機関や日本の国際協力銀行などに勤務し、国際協力の最前線で活躍。外務省・JICA国別援助研究委員(2003)。2002年より現職。



### 「現場主義」に徹して将来の夢を見つけたい



人間社会学部地域社会学科1年  
小和口 大樹さん  
埼玉県小松原高等学校出身

何をしても自分の目で見て調べないと分らないですね？ 目白大学の地域社会学科は、自分で現場に行き、目で見て、調べる「現場主義」の学びを特徴としているところに興味を持ちました。

「目白大学は楽しい」と友達から聞き、実際に足を運んでみると、キャンパスの雰囲気も明るく、充実した学生生活がイメージできたので、ここにしよう決めました。実際に通ってみると、目白大学は想像していたよりもずっと過ごしやすい。友達もたくさんできると、知らなかったことをどんどん吸収できます。それに、大学の授業は「やらされている」のではなく、「自らやる」もの。黒板に書かれたことを丸写しするのではなく、先生の話に注意深く聴いていけば、いろいろなことに興味が湧いてきます。今はどの授業も面白いです。

将来の夢はまだ決まっていません。だからこそ「今」というこの時を一生懸命に生きて、今しかできないことをしたいと思っています。地域社会学科の特色である「現場を見る」というチャンスを活かして、自分の目でじっくり未来を探していきたいと思っています。

### 故郷の「町おこし」に役立つ勉強をしたいから



人間社会学部地域社会学科1年  
落合 有佳里さん  
島根県立松江南高等学校出身

今、日本のあらゆる地域で「いかにして町を活気づけるか」が議論されています。私は将来、大好きな故郷、島根県の活性化に携わりたいと考えているので、そのための「町おこし」を学べるのは目白大学の地域社会学科だと思い、入学を決めました。

地域振興のためには、あらゆる角度からその地域を知り、働きかけることが必要になります。今は「とにかく何でも興味を持って挑戦してみる」ことを心がけています。

講義の中で私の一番のお勧めは、大西律子先生の「フィールドスタディの方法3」です。身近な景観についてさまざまな切り口でアプローチしていく方法を知ってからは、毎朝通学途中で見える町の景色の中でも、いつも新しい発見を探して歩くようになりました。授業は30人以下のクラス単位で受けるものが多く、少人数なのが特徴です。学生同士の交流も活発で友達もたくさんできました。大学生活は自由になる時間が多いので、使い次第で将来の自分の大きな糧になる経験がたくさんできるだろうと期待しています。

### ■カリキュラム編成と科目一覧

		1年次 地域社会学基礎演習	2年次 地域社会学応用演習	3・4年次 地域社会学創造演習
		フィールドワークの方法論を具体的に学び、体験的に実践します。	1年次演習よりさらに少人数のゼミで学びます。	各自が課題を設定し、フィールドワークの計画立案・実施、資料の整理・分析、発表、レポート作成を行います。
基幹科目		地域社会を考える フィールドスタディの方法1(資料調査) フィールドスタディの方法2(資料分析) フィールドスタディの方法3(景観観察) フィールドスタディの方法4(聞き取り調査)		
形成科目		社会学 日本民俗学 生涯学習概論 コミュニケーション論 カルチュラル・スタディーズ概論	都市デザイン論 移民研究 定住外国人問題研究 公共の哲学 社会学歴史	
展開科目	「交流空間」 科目群		地域振興論 プロデュース研究 博物館概論 博物館学各論Ⅰ	ホスピタリティ・デザイン 社会教育施設論 文化財学 博物館学各論Ⅱ
	「多文化共生」 科目群		ラテンアメリカ事情 エスニック・メディア研究	国際関係論 多文化社会と法 アジア地域事情 イスラム文化圏事情 都市民族誌
	「未来創造」 科目群		伝統創造論 男女共同参画社会研究	現代コミュニティ論 平和学 地域社会とボランティア 国際協力論 環境倫理学
演習科目		地域社会学基礎演習1(地域社会と人間) 地域社会学基礎演習2(地域社会と組織)	地域社会学応用演習Ⅰ・Ⅱ	地域社会学創造演習Ⅰ・Ⅱ 卒業研究指導演習 卒業研究

## 言語聴覚学科

2006年4月より岩槻キャンパスで言語聴覚学科の教育がスタート

# 患者さんの気持ちを理解し 真剣に向きあうことのできる 人間性と倫理観を備えた人材を育成

高齢社会を迎える現代、需要の高まる「言語聴覚士」を育成すべく、保健医療学部言語聴覚学科が新設されました。

ここでは、学科長の齋藤佐和先生に、「言語聴覚士」についてお話を伺いました。

### 言語聴覚士とは

何らかの障害でコミュニケーションが困難になったとき、私たち人間にとってコミュニケーションがどんなに貴重なものであるかを思い知ることになります。言語聴覚士は、聴覚、発声発語器官、脳の高次機能、言語発達の障害などによりコミュニケーション上の様々な困難に直面している人に対して専門的な支援を行います。また「食べる」という人間の基本的な機能に障害のある人に対する摂食・嚥下の機能訓練も担当します。一般的にはSTと呼ばれており、リハビリテーション専門職の先輩である理学療法士(PT)、作業療法士(OT)に次いで1997年に国家資格ができた若い専門職種です。

### 言語聴覚士の現状

国家試験の開始後10年に満たず、有資格の言語聴覚士は1万人を超えたところですが、高齢社会への対応、また福祉や教育分野での需要の拡大に備えて2万人以上は必要と言われています。量だけでなく質の確保もこれからの課題です。言語聴覚障害としては、聴覚障害、発声や発語に関わる障害、脳血管障害などに

よる失語症や高次脳機能障害、言語発達や読み書き学習などに関わる障害、摂食・嚥下障害などが考えられ、原因も障害の状態も多岐にわたり、年齢も乳幼児から高齢者まで大変幅広いものです。言語聴覚士は、対象となる方の障害の状態を正確に把握し、年齢や生活環境を考慮した臨床プログラムを作成・実践していくため、幅広い専門知識と臨床家としての能力が求められます。医療技術の進歩、検査や臨床に役立つ関連機器の発展に貢献していく力、関連職種と連携する力も必要です。医療・リハビリテーション分野はもとより、保健、福祉そして教育分野での活躍が期待されています。

目白大学保健医療学部  
言語聴覚学科の学び

2006年4月、本学科は言語聴覚士を

養成する15大学・短大、42専門学校の仲間として船出しました。お陰様で岩槻キャンパスにすばらしい実習棟が完成し、2008年度までに優秀なスタッフも揃います。

1、2年次で幅広い基礎学習を積みあげ、3年次に学内総合演習で臨床の基礎を身につけ、4年次の学外臨床実習で基本的臨床力を育てます。もちろん国家試験の合格が前提になりますが、本学科では「考える臨床家の養成」をモットーに、学生が言語聴覚士としての誇りと目白大学への愛校心を持ち続けてくれるよう、丁寧な教育を実践していきたいと考えています。

言語聴覚士は内容的な奥行きも発展性もある魅力的な職種です。コミュニケーションに関わる仕事であることから、教員・学生ともに何よりコミュニケーションを引き出す人間としての魅力、包容力をもつことを大切にしていきたいと思っています。

言語聴覚学科長  
齋藤佐和先生

Profile

東京大学教育学部卒。仏政府留学生としてフランスに留学、1971年パリ第五大学博士号(Ph.D.)を取得。専門は聴覚障害学。前任校筑波大学で附属聾学校長、特別支援教育研究センター長を歴任。



### クラス担任制や充実した実習が魅力です



保健医療学部言語聴覚学科1年  
**山口 智史**さん  
秋田県立秋田南高等学校出身

人を助ける仕事を、以前からやりたいと考えていました。それに言語聴覚士は教材を開発する「創意工夫」の精神も求められるので、そこにも魅力を感じています。

目白大学を選んだ理由は2つ。1つはクラス担任制をとっていて、教師と学生がより密接な関係の中で学べること。もう1つは実習を重視したカリキュラムが組まれていて、将来病院やリハビリテーション施設に勤務する時に、その経験が活かせると思ったからです。

専門科目の「音声・言語聴覚医学II」は初めて知る専門用語や医学用語が多く、勉強している充実感があります。また、患者さんにとってより身近な言語聴覚士になるためには、相手の考えや何を求めているかを知る必要があると思うので、人間関係論や心理学の授業も積極的に履修して、夢の実現に向けて頑張っています。

それからオススメする講義は「速読法」です。これまでの本の読み方が変わってしまうくらい、その技法やコツは参考になり、これで勉強もはかどりそうです。

### 同じ夢があるからみんなで頑張れる



保健医療学部言語聴覚学科1年  
**横山 聡美**さん  
埼玉県星野高等学校出身

医療系の仕事に就きたいと考えていろいろ調べるうちに「言語聴覚士」という資格を知りました。言葉は人とコミュニケーションをとる上で大変重要なものです、その言葉を失ってしまった方々の役に立てる職業だと思い、この学科を選びました。

講義を担当するのは言語聴覚士の先生方です。さまざまなケースについて「あなたならどう思う?」と投げかけながら進むので、自分なりに考えることができます。同時に、先生やクラスメートの違った角度からの考えを知ることができます。

もちろん覚えなくてはならないことも多いのですが、質問の時間が十分にあるので、自分で納得しながら学ぶことができます。クラスの中に「言語聴覚士になる」という共通の思いがあるので、みんなで頑張ろうという雰囲気がありますね。

患者さんだけでなく、その家族にも心から信頼してもらえる言語聴覚士になるのが夢です。まずは資格取得のために授業をしっかり受けることを心がけています。



### 言語聴覚士の働いている職場と仕事の内容

**■医療領域の例**  
リハビリテーション科…脳血管障害、交通事故、外傷、腫瘍などの原因により生じる失語症、その他の認知・コミュニケーション障害の評価、訓練などリハビリテーションを行います。  
耳鼻咽喉科…難聴児・者の聞こえの評価、補聴器装用、人工内耳術後の対応などを行います。  
小児科…言語発達障害の小児に対する評価、訓練を中心に行います。  
形成外科…唇顎口蓋裂の術後患者の構音に対する評価、訓練を行います。

**■教育領域の例**  
学校・教育センターなど…ことばの教室、聞こえの教室、聾学校、教育センターなどで、ことばや聞こえの問題から知的障害、広汎性発達障害などの評価と訓練、指導を行います。

**■地域リハビリテーションの領域の例**  
通所リハビリを行う施設…利用者へのリハビリテーションを医療から継続して行います。  
訪問リハビリテーション…在宅の患者さんに対して訪問してリハビリテーションを行います。  
保健センター…乳幼児健診や経過観察のほか、訪問リハビリテーションを行います。

**■福祉領域の例**  
介護老人保健施設・特別養護老人施設…聞こえの問題や摂食・嚥下の問題、認知の問題などを扱います。  
障害児の通園施設や入所施設…難聴や知的障害、発達障害などの評価と訓練、指導を行います。

# 目白探訪

## 第6回 新宿キャンパス10号館

Part2

昨年完成し、今ではすっかり新宿キャンパスのシンボルとなった10号館。今回は「Part 2」として、2階から上部分の紹介をします。

10号館を見上げてまず目にとまるのは、緩やかな半円を描く9階部分。これは、クィーンのティアラをイメージしたデザインが特徴的な大講義室です。内装には自然の木を使用し、やわらかな印象を受ける最上階の教室は、最新の教材設備が整う、300人収容の学内最大の教室です。



大講義室



### 介護演習室

和室、浴槽、トイレが設置されている演習室。電動ベッドや車イスもあり、実習に備えて車イスの操作方法や衣類の脱着の仕方、ベッドから車イスに移動させる方法などを体験しながら習得します。



### 実習支援室

実習や実習科目を中心に、ボランティア活動、国家試験対策等を専任スタッフがサポートします。また、資料閲覧室も併設しており、福祉関係の学術誌、新聞、他大学の実習報告書、各施設のパンフレット等、実習に関するさまざまな情報を収集することができます。



### 中講義室

約170人収容できる階段教室。電動ブラインドが設置され、新宿高層ビル街や、天気の良い日には富士山を望むことができ、開放的な環境の中で授業を受けることができます。



### 大学院事務室・国際交流研究科&大学院DC研究室・MC研究室

2階は大学院のフロアとして活用されています。大学院事務室では、履修登録、学生証の発行や奨学金の手続きなど、院生生活に関するほとんどの相談や窓口業務を行っています。大学院生用の資料を閲覧したり、教員と交流できるオープンスペースもあります。事務室の向かいには、常時開放されている大学院DC・MC研究室があり、パソコンなど昼夜開講の研究科に対応した情報設備が整っています。



# 学園インフォメーション

## 2006年学校説明会・オープンキャンパス情報

### 目白学園中学校

7/15 (土) 14:00～	11/25 (土) 14:00～
8/26 (土) 14:00～	12/9 (土) 14:00～
10/13 (金) 18:00～	12/23 (土) 14:00～
10/29 (日) 14:00～	1/13 (土) 14:00～
11/14 (火) 13:00～	

※予約不要  
※個別の入試相談や学校見学は随時受け付けております。入試広報室までご連絡ください。

### 目白学園高等学校

7/15 (土) 10:00～	11/25 (土) 10:00～
8/26 (土) 10:00～	12/9 (土) 10:00～
10/13 (金) 18:00～	12/16 (土) 10:00～
10/29 (日) 10:00～	
11/14 (火) 13:00～	

※予約不要  
※個別の入試相談や学校見学は随時受け付けております。入試広報室までご連絡ください。

### 目白大学大学院

国際交流研究科：7/16(日)・8/12(土)・9/10(日)・12/16(土)
心理学研究科：9/10(日) (集合時間13:00)
経営学研究科：7/16(日)・8/12(土)・9/10(日)・12/16(土)

\*時間はいずれも13:00～16:30 \*入退場自由・予約不要

**2007年 生涯福祉研究科設置申請中**

### 目白大学・目白大学短期大学部

6/18 (日) 新宿・岩槻キャンパスで開催
7/16 (日) 新宿・岩槻キャンパスで開催
8/12 (土) 新宿・岩槻キャンパスで開催
9/10 (日) 新宿キャンパスのみで開催
12/16 (土) 新宿・岩槻キャンパスで開催

\*時間はいずれも  
13:00～16:30  
\*入退場自由・予約不要  
(ただし岩槻模擬授業のみ要予約)



#### Program

- 学科個別相談** 新宿 岩槻  
専門的なことも含めて何でも質問してみましょう。
  - 在学生相談** 新宿 岩槻  
入試の体験談や授業のこと、そして大学生活についての裏情報(?)も含めて先輩たちが親切に教えてくれますよ。いろいろと聞いてみましょう。
  - キャンパスツアー** 新宿 岩槻  
在学生が自慢の施設を案内します。目白大学の雰囲気を感じる絶好のチャンスです。
  - AO入試事前相談** 新宿  
AO入試を希望する受験生は、エントリーの前に必ず事前相談が必要です。早めの準備が肝心...この機会を逃さないで!
  - 模擬授業** 新宿 岩槻 (岩槻キャンパスはホームページからの予約が必要です)  
大学の授業をいち早く体験してみましょう。きっと新鮮な気分になれると思います。
  - 入試説明&新学科紹介** 新宿  
最新の入試情報をゲットしましょう。入試の種類や概要について詳しく説明します。また、来年度誕生する学科やコースについても紹介します。
  - 体験コーナー** 岩槻  
実習設備を利用して、理学療法・作業療法・言語聴覚・看護を体験してみましょう。
  - その他モロモロ** 新宿 岩槻  
就職のこと、奨学金のこと、寮やアルバイトのこと...疑問や不安に思っていることは何でも遠慮なく気軽に相談してみましょう。
- ※個別の入試相談や学校見学は随時受け付けております。入試広報課・入試課までご連絡ください。

## 新しい研究所、施設がスタートしました。

### 目白大学教育研究所

「目白大学教育研究所」は、40年の歴史を持つ「女子教育研究所」からそれを引き継ぎ、時代の要請に応じて、平成18年4月から新しい組織としてスタートしました。目白学園の内部のことも含め、今日的な教育環境におけるさまざまな課題に対応するための研究を行うことを目指しています。研究成果は、研究レポート、研究紀要等で発表し、講演会の開催も企画しており、その都度広報もしていきます。テーマに応じて興味・関心のある方はぜひご参加ください。

### 桐和国際寮

目白大学桐和国際寮が、本年3月20日に開所し、交換留学生12名が入寮しました。昭和41年に本学西側に短期大学部学生寮として建てられ、その後研究室として使用されていたものを改装し、留学生の生活の拠点として生まれ変わりました。

この国際寮の設置は、平成17年の外国語学部の開設により他国との学生交流が活発になり、その結果、たくさんの交換留学生が本学で学ぶことになったことが最大のきっかけです。日本に生活基盤を持たずに来日し、比較的短期間(主に1年)で帰国する交換留学生にとっては、日本の礼金、敷金等の制度は負担が大きく、この寮の存在は留学生と国際教育交流を推進する本学の双方にとって、とても有意義なものとなりました。

国際寮の共用設備としては、シャワールーム6室、洗濯機、乾燥機が各2台あり、1階には冷蔵庫、食器、調理器具を備えたキッチンも整備されています。また、テレビやパソコンのある談話室もあり、寮生たちはその部屋で自炊をしながら互いの交流もはかっています。同時に、心配されていた地域の方々にも受け入れられ、すっかり溶け込んでいるようです。

現在、9室の空き部屋がありますが、それも来年の4月には全室が埋まり、足りなくなる心配もあります。本学としては、嬉しい頭痛の種となりました。この国際寮が、ますます活気づくほどに、国際交流が盛んになることを願っています。

## 2年目で県大会を制覇、 高校トップクラスに

その競技名を初めて耳にする人からは「バーベルをこう、頭の上に持ち上げるのでしょ?」というように、「重量挙げ」と間違われることが多いとか。確かに、パワーリフティングはバーベルを使いますが、ただ持ち上げるだけでなく、スクワット、ベンチプレス、デッドリフトの3種目で重量の合計を競うスポーツです。1950年代にアメリカのボディビルダーの間で始まり、現在、日本でも愛好者が増えつつあります。

春原知子さんがパワーリフティングに出会ったのは、高校に入学してから。部活動紹介で女子パワーリフティング部の技を見て「やってみたい」とピンと来たそうです。その直感通りぐんぐんと力をつけ、高2の夏には埼玉県大会の女子60キロ級で春・秋2連覇を達成しました。さらにその年、南アフリカで開かれたパワーリフティング世界大会のサブジュニア(14歳~18歳まで)の категорияで日本代表に選ばれ、世界の強豪とも戦ってきました。

現在の大会自己ベストは252.5キロ。3種目のうち、床に置かれたバーベルを足と背中が伸びるまで垂直に引き上げるデッドリフトが得意で、100キロ近いバーベルを持ち上げることができます。

## 0.1グラムで失格も 自己コントロールが勝敗を分ける

決して体格に恵まれているわけではない春原さんが、好成績を出せる理由はただひとつ。日々の練習を怠らないということです。平日は授業が終わった後、トレーニングジムで3時間、週末はその倍以上を練習に費やします。また母校で練習も兼ねて後輩の指導にあたることもあるそ

うです。

パワーリフティングで大事なのは、筋力だけではありません。トレーニングと同時に体重コントロールも実力を左右する大きなポイントになります。試合は体重別に階級が指定されていて、検量は厳格です。時にはライバルと同じ階級になるのを避けるため、体重を増減して階級を変更する場合もあります。その上、十分な筋力を備えていなければいつもの力は発揮できません。

「0.1グラムでもオーバーすれば失格になってしまうので、検量直前は水だけしか飲まない時もあります。それはとてもつらいので、毎日体重計に乗り、食べたものを記録して普段からコントロールするよう心がけています。食事は脂肪分を少なく、炭水化物がメインになります」。

そうした積み重ねの先に、記録を残せる喜びがあることを春原さんはよく知っています。「パワーリフティングの魅力は、毎日の練習、自分の努力が、目に見える成果として表れることだと思います。きついことも多いですが、やってきてよかったと思える競技です。

大学にはパワーリフティング部がないので、創部するのが夢です。そのためには大会で実績をあげ、実力をアピールしたいところ。

調子は上がってきているので、夏には自己ベストを更新したいと思っています。できれば300キロ。もう一度世界にチャレンジしてみたいですね」

そして春原さんのもうひとつの目標は、作業療法士の資格を取得すること。高校は保健医療コースで学び、以前から作業療法士を将来の仕事と決めていました。「リハビリを受ける人が、少しでも楽しく取り組めるきっかけを作れるような作業療法士になりたい」と話します。

患者さんに合わせて援助の方法を考え、実践する作業療法士の仕事は、持久力や忍耐力が求められます。パワーリフティングで鍛えた精神力が、春原さんの将来の仕事に活かされる日もそう遠くないはずですよ。

輝く目白の星

努力したぶんの結果はついてくる  
それがパワーリフティングの魅力です。

パワーリフティング選手  
保健医療学部作業療法学科1年  
すのほら ともこ  
春原 知子さん